



青澄む空

～校歌 青澄む空より～



清瀬市立清瀬第四中学校長 中西 規人

凡事徹底

校長 中西 規人

「凡事徹底」？さて、何と読むでしょう。「ぼんじてっい」と読み、【何でもないようなあたりまえのことを徹底的に行うこと、または、あたりまえのことを極めて、他人の追随を許さないこと等を意味する言葉です（weblio 辞書より）】。

いつも放課後にせっせと掃除をしてくれている生徒の皆さん、部活動で、基礎・基本的なことを繰り返し練習している生徒の皆さん、何より、毎日学校に来て、1時間1時間の授業をしっかり受けている生徒の皆さんを観ていてこの言葉を思い出し、鍵山 秀三郎氏の本を読み返しました。

鍵山さんは、昭和36年に店を構え、商品を持って売り歩くところから商売を始めました。そして、毎日の生活の中で凡事徹底を心掛け、黄色い帽子で有名な車用品の会社を創業されたのです。鍵山さんが著書“凡事徹底”の中で、「成果をあげられる人とあげられない人の差」について次のように書いていました。

「成果を出している人は無駄が少ない。では、どのようにしたら無駄が少なくなるかと言うことですが、いつも無駄に気を付けて、気付く人になることです」。でも、中々そうなることは難しいですね。では、どうすれば気付く人になれるのだろうか。鍵山さんは、二つの方法があるとおっしゃっています。「ほんの少しのこと、微差・僅差の積み重ねを大事にすることと、一步踏み込んで人を喜ばせようとする。これらを通じて1年経てば、人が気付くくらい昔とは変わった人間になっている」。

少し前の話です。あるTV番組で、「メジャーで大活躍している大谷選手が、高校生時代から今も続けていることの一つに“ゴミ拾い”がある」と言っていました。そう言えば、試合中にゴミや、相手選手の折れたバットを拾っている場面が、スポーツニュース等で大きく報じられていました。ほんの少しのことや努力を“続ける”と言うことは、大変なことではありますが、“継続は力なり”や“涓滴岩を穿つ”等の諺が示すとおり、とても大きな力となり成功につながります。

君たちの身の回りには、同じようなことがたくさんあるのではないのでしょうか。当事者意識をもち、自分で考え、行動することが、まずはとても大切なことなのですが、“考動”を継続させることで初めて、自分の血肉になっていくのです。

四中生徒の皆さんにこの想いを伝え、令和3年を締めくくりたいと思います。

保護者の皆様、今年1年大変お世話になりました。四中生徒の素晴らしさは、彼ら自身の頑張りはもちろんですが、彼らを支える健全で温かい御家庭があってこそのものであります。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。新しい年を迎えるにあたり、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたします。来年も、何とぞよろしく願いいたします。

○「校外学習を終えて」 1年校外学習実行委員長

校外学習が無事終えることができた今、川越で私たちを温かく迎えてくださった方々、カメラマンさんや施設で説明をしてくださった方々、そして施設との交渉をしてくださった先生方に、改めて感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。

実行委員会ではスローガンや校外学習のルールを決め、全体では全員が係を分担し、それぞれの役割で準備をするところから始めました。班行動の見学場所や時間、コースなどもすべて自分たちで決めました。当日、道に迷ってしまった班もありましたが、それも思い出のひとつとなりました。班のみんなが協力し、コミュニケーションも多くとれて、とても貴重な体験となりました。この校外学習での経験や失敗を活かし、これからの生活や、2年生・3年生での班活動につなげていきたいと思います。

○「校外学習担当者として」 清瀬第四中学校 第1学年 校外学習担当

1年生にとって、初めての校外学習は、班行動がメインです。班行動では自分の仕事を責任をもって果たし、班員と協力することが大切です。川越の歴史を学び、川越に点在する史跡や重要文化財を調べ、どの班も興味をもって、当日のコース作りを進めていきました。今回はあいにくのコロナ禍で、菓子屋横町での食べ歩きはできませんでした。それでも、晴天に恵まれ小春日の川越を、自分たちの目で見て、足で歩き、直に触れることで、たくさんのことを感じ、学ぶことができました。道に迷って、反対方向に進んでいる班も、時間に遅れそうになって走っている班も、やっと目的地にたどり着けた班も、みんないい笑顔でした。Withコロナで、できたこの校外学習を、次の活動の力に変えていってほしいと思いました。



● 令和3年度「私の体験・主張発表会」(健全育成) ●

先月の<7号>でも紹介しましたが、健全育成では、次の3つのテーマに沿った作文・ポスターを募集しました。「・人と人とのふれあいを大切にしよう・自然や環境にやさしくしよう・社会や人のためにすすんで行動しよう」本校からは作文で1名、ポスターで1名の計2名の大賞受賞者が出ています。11月13日(土)に生涯学習センター(アミュー)で大賞受賞者による「私の体験・主張発表会」が行われました。

会場では作文の朗読や、自分の作品の説明をしました。2人とも、とても立派な発表でした。最後に、清瀬市長と教育長から表彰状を受け取っていました。お疲れさまでした。ポスターについては他の入賞作品とともに、2階の階段を上ったところの廊下に掲示をしました。

● 令和3年度全国中学生人権作文コンテスト東京大会 ●

東京法務局人権擁護部が主催する作文コンテストです。本校では夏季休業中の課題として1年生に取り組んでもらいました。都内287校から37, 287編という多数の応募があったそうですが、本校では1年生女子が入賞しました。おめでとうございます。

作文委員会賞 作文名「傍観者の責任」

● 「社会を明るくする運動」作文コンテスト ●

法務省“社会を明るくする運動”東京都推進委員会が主催する作文コンテストです。本校では夏季休業中の課題として2年生に取り組んでもらいました。清瀬市では14校の小中学校から308点の応募があったそうですが、その中から5点が東京都に推薦されました。その推薦された5点の中に、2年生男子の作文が含まれています。おめでとうございます。

推薦作文 作文名「犯罪者の立ち直り」

● 税の作文・税の標語 ●

国税庁が主催する税の作文・税の標語ですが、本校では夏季休業中の課題として3年生に取り組んでもらいました。その結果、3名の女子が入賞しました。おめでとうございます。

【税の作文】

清瀬市租税教育推進協議会会長賞
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長賞

【税の標語】

東村山税務署長賞

☆ 第20回 生徒会長サミット ☆

東京都中学校特別活動研究会が主催する「生徒会長サミット」。参加を希望する中学校の中から40校を選出し行われます。昨年からオンラインで開催されており、今年もオンラインで開催されました。「認め合い 支え合い 高め合う 仲間づくり」をテーマに12月27日（月）に開催されました。本校の生徒会も参加し、積極的な意見交換を行いました。

● 今後の主な予定 ●

- 12月24日（金）・・・ 終業式
- 12月29日（水）～ 1月 3日（月）・・・ 学校閉庁日
- 1月 7日（金）・・・ 3学期始業式
- 1月12日（水）～ 1月31日（月）・・・ 校内書き初め展
- 1月13日（木）・・・ 避難訓練、専門委員会
- 1月14日（金）・・・ 1年内科検診
- 1月17日（月）・・・ 生徒会朝礼
- 1月18日（火）・・・ 2年内科検診
- 1月23日（日）～ 1月25日（火）・・・ 1年スキー移動教室
- 1月29日（土）・・・ 命のフォーラム
- 1月30日（日）～ 2月 1日（火）・・・ 2年スキー移動教室